

令和6年度 小金井市立学校教育課程の方向性

小金井市教育委員会学校教育部指導室

授業力の向上

- (1) 全教員による「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の実践
 - ・授業における対話の充実
 - ・実践事例の共有
 - ・対話アンケートの実施、活用
- (2) 「問い合わせ」の発見や解決に挑む授業の実践
 - ・探究的な活動、体験活動の充実
- (3) 小中連携による授業実践の共有
 - ・小中交流会の充実
 - ・相互の授業観察の拡充

人権教育・生命尊重教育の充実

- (1) 子どもの権利を大切にする学校づくり
 - ・小金井市子どもの権利に関する条例の授業の実施
 - ・子供の声や意見を聞く取組の推進
 - ・人権教育に係る教員研修の確実な実施
- (2) いじめの防止等のための対策の充実
 - ・学校いじめ防止基本方針に基づいた取組
 - ・いじめに関する授業の充実
 - ・月ごとのいじめ実態調査
- (3) 生命尊重に関する教育の充実
 - ・SOSの出し方に関する教育
 - ・生命（いのち）の安全教育
 - ・包括的性教育

不登校対策の取組の充実

- (1) 魅力ある学校づくりによる未然防止
 - ・居場所づくり
 - ・きずなづくり
 - ・すべての子供が相談しやすい体制の整備
 - ・配慮を要する子供への支援環境の整備
- (2) 早期発見・早期対応
 - ・児童・生徒個人指導ファイルの活用
 - ・不登校対策を担う委員会等を中心とした組織的対応
 - ・SC・SSWと連携した組織的な相談体制の充実
- (3) 個に応じた不登校支援
 - ・多様な学び、ニーズへの対応（校内別室指導、オンラインの利用等）
 - ・関係機関との連携（もくせい教室・フリースクール等）

一人一台ICT端末等の効果的な活用

- (1) デジタル社会をよりよく生きる力の育成
 - ・デジタル・シティズンシップ教育の推進
 - ・日常的なICT利活用
- (2) 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
 - ・習熟の程度や認知特性に応じた学習の充実
 - ・子供同士が学び合うことができる活動の充実
 - ・教育支援アプリ等の効果的な活用

小金井市気候非常事態宣言を受けて

- (1) みどり豊かな自然環境を守る教育活動
 - ・小金井市の環境について考える学習の充実
 - ・持続可能な開発目標(SDGs)と関連付けた学習の充実
 - ・宿泊行事等における自然体験活動の充実
 - ・環境を守ろうという気持ちや姿勢の醸成
- (2) 「ハチドリプロジェクト」の実施
 - ・子供主体の取組の推進
 - ・保護者・地域への発信・連携

三つの本気



子供一人一人の「その子らしさ」を最大限伸ばす
適切な関わりを推進できるチーム学校の創造

特別支援教育の一層の充実

- (1) 子供の困り感に応じた合理的配慮の提供
 - ・全教職員による合理的配慮の理解・実践
 - ・授業におけるユニバーサルデザインの実施
 - ・全教職員への特別支援教育に関する理解の促進
- (2) 特別支援教室による指導の充実
 - ・校内委員会を活用した組織的な支援
 - ・心理士の定期的な巡回による児童・生徒の観察
- (3) 交流及び共同学習の充実
 - ・通常学級と特別支援学級との交流及び共同学習
 - ・特別支援学校との副籍交流の積極的な推進

カリキュラム・マネジメントの充実

- (1) 思いやりや公共心の育成
 - ・考え、議論する道徳の充実
 - ・保護者、地域と連携した道徳教育の探究
 - ・ボランティア活動の充実
- (2) 個性と創造力を伸ばす教育の推進
 - ・読書活動の充実
 - ・文化的行事の充実
 - ・国際社会を生きるためにの外国語教育の充実
- (3) 体育・健康・安全教育の充実
 - ・学校2020レガシーの構築
 - ・セーフティ教室、薬物乱用防止教室の実施